

平成 29 年度 事業報告書

概 況

平成 29 年度のわが国経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、穏やかに回復している。さらに海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつある。しかしながら、中小企業を取り巻く環境は依然実態感がなく、逆に残業問題など新たな経営課題が出てきています。

さて、今年度の弊協会の売上は、このような厳しい環境下にありましたが、全体として 31 億円強となりました。集団検診部門において「個人オプション検査（腫瘍マーカー検査）」等新項目が大きく伸び、また大手事業所等の新規取引先の獲得もあり、初めて 20 億円を突破いたしました。また本部診療所においても一昨年から新たに午後健診の効果もあり受診者が増加、前期比では増収となりました。その他各部門においても前年度を上回る実績を残しました。一方で利益面では、健診精度向上のための読影コスト上昇や人件費のアップ、更には検査費用や検査材料費の増加もあり、結果として増収ながら減益の決算となりました。引き続きお取引先大企業からのコスト削減にとまなう値下げ要請は、非常に厳しいものがあります。また、各健康保険組合も財政難から、新たな収益機会の導入は難しいものがあります。こうした中で健診精度を高めるとともに、一層の効率化を図っていきたいと思います。

弊協会は内閣府より認可を受け、平成 24 年 4 月 1 日から「一般財団法人京浜保健衛生協会」に生まれ変わり、平成 30 年度で 7 年目を迎えます。新しい公益法人の役割の中で行政をはじめ、関係諸団体と連携を密にし、弊協会の定款に定める健康診断並びに調査研究指導・啓発広報等を通じ、国民の生活習慣向上のために健康診断事業を適切に推進していきたいと思います。引き続き関係各位のご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

I. 集団健康診断事業・診療所事業

1. 集団健診事業

1) 受診者数・売上状況

- ・今年度は、約 42 万人の方々に受診いただき、前年比わずかですが増加となりました。
- ・売上は 20 億円を上回り、前期比増収で着地することができました。

2) 主な動向

- ・不採算先の改善提案を中心に喪失先が発生しましたが、新規先の獲得・新項目の増加件数が伸び売上増加につながりました。
- ・個人の血液オプションは腫瘍マーカーにアレルギー検査を追加するなど、売上の大幅な増収に貢献しました。

2. 診療所事業

1) 受診者数・売上状況

- ・今年度の総受診者は、前期比増加となり、23,000 名を超える方々に受診いただきました。
- ・売上は、約 380 百万円で前期比増収とすることができました。

2) 主な動向

- ・レディースデイ・午後健診の実施・従来休診としていた内視鏡検査の木曜実施等工夫を重ねたことが、4 年連続で受診者 2 万人以上、売上 3 億円以上につながっています。

II. 調査研究事業

1. 調査事業

がん検診追跡調査

- ・平成 28 年度、がん検診（胃・胸・大腸・子宮・乳房）の受診者は、338,897 名（男 235,664 名；69.5%、女 103,233 名；30.5%）で

した。

- ・要精密検査となった者のうち、追跡調査用紙を発送できたものは 590 名、回収できた者は 462 名で発送数の 78.3%でした。

2. 健康支援事業

- ・健康相談事業は、健康診断に付随してそれぞれ必要に応じた場面で行っています。
- ・診療所に付設されている保健指導室を活用して、658 人の受診者様と個人面接を実施しました。
- ・相談内容は、骨量・乳房セルフチェック・特定個人指導等です。

3. 特定保健指導

- ・生活習慣改善において大事なことは「自己効力感」と言われています。当協会のプログラムは、対象者の方々の個別性を踏まえ、自己効力感を高め、メタボ脱却へと 6 か月間の支援を行なって参ります。
- ・11 健保に対して、積極的支援 52 名、動機づけ支援 67 名、総計 119 名の方々に特定保健指導を実施いたしました。

Ⅲ. 公益事業

当協会は、平成 24 年 4 月 1 日に内閣府の認可を得て「一般財団法人」となってから 6 年目を迎えました。一般財団法人への移行にともない策定した「公益目的支出計画」に基づき、公益性の高い事業を実施する事で広く企業や地域社会の皆様方へ還元してきました。今後も引き続き公益事業の活動に力を注ぎさらなる還元を目指します。

当協会の公益事業は（1）幼稚園事業、（2）JMS 事業、（3）講演会事業、（4）広報事業、4 つの事業を柱としています。

1. 幼稚園事業

- ・子育てで忙しく日頃健診を受ける機会が少ない 19 園の幼稚園児の母親および教職員を対象に、各幼稚園に直接伺い、血液検査と骨量測定を行いました。
- ・乳がん検診と子宮がん検診を受けられた 788 名の受診者様と、婦人科検診を受けられた 741 名の受診者様にアンケートを実施いたしました。

2. JMS 事業

- ・日本乳がんピンクリボン運動が 2009 年から「10 月第 3 日曜日」を「ジャパン・マンモ・サンデー」として全国の医療機関に賛同を呼びかけ、当協会も趣旨に賛同し実施しています。
- ・今年度は、10 月 15 日に実施 88 名の市民の方に受診いただきました。

3. 講演会事業

- ・第 30 回定例健康管理講演会を、11 月 10 日（金）に T K P ガーデンシティ品川にて、元全日本バレーボール選手の三屋裕子先生を講師としてお招きし、演題「健康寺子屋」のご講演をいただきました。
- ・150 名の参加者からは「心と身体の健康の大切さを改めて実感した！」「気軽に始められるストレッチを同僚や家族に伝えます！」など多くの感想をいただきました。

4. 広報事業

- ・広報誌「ほほえみらいふ」を次の通り発行しました。
- ・平成 29 年 7 月 1 日 70 号 2,000 部。
- ・平成 30 年 1 月 5 日 71 号 2,000 部。
- ・発送先；官公庁、事業所、地区組織、全衛連加盟機関等。

以上